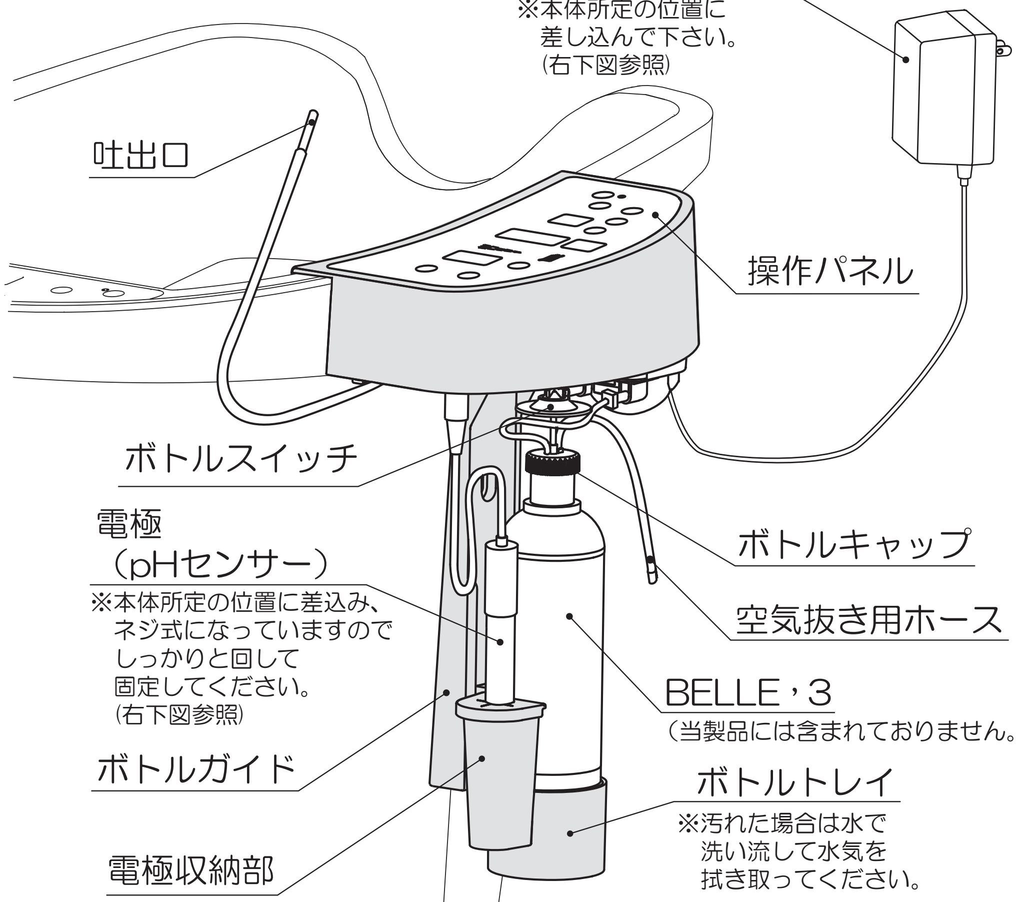
ベル・ジュバンス スーパーｐＨコントローラー

取扱説明書

〈この度はベル・ジュバンス スーパーペーハーコントローラーをお買い上げいただきまして誠に有難うございました。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。〉

●各部の名称とはたらき



電源プラグ(ACアダプタ)
※本体所定の位置に
差し込んで下さい。
(右下図参照)

吐出口

操作パネル

ボトルスイッチ

電極
（pHセンサー）
※本体所定の位置に差込み、
ネジ式になっていますので
しっかりと回して
固定してください。
(右下図参照)

ボトルキャップ

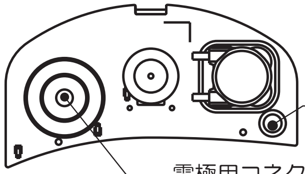
空気抜き用ホース

BELLE，3
（当製品には含まれておりません。）

ボトルガイド

ボトルトレイ
※汚れた場合は水で
洗い流して水気を
拭き取ってください。

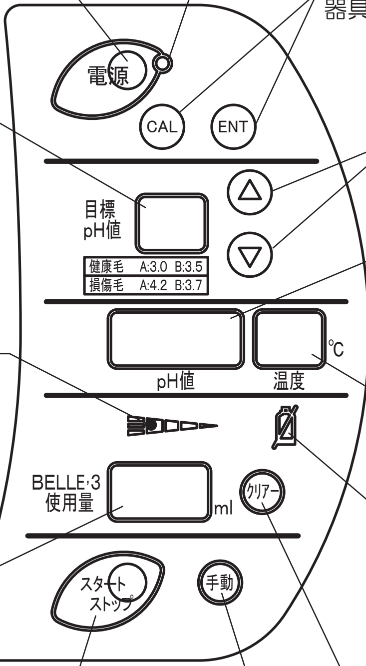
電極収納部



電源プラグ用
コネクタ差込み位置

電極用コネクタ
差込み位置

●操作パネルの名称とはたらき



①電源ランプ
電源プラグ（ACアダプタ）をコンセントに差し込むと点灯します。

②電源ボタン
ボタンを押すと⑩・⑫が点滅し⑤・⑥が点灯します。

③校正ボタン
器具の校正ができます。

④目標ｐH値設定ボタン
目標ｐH値を設定できます。

⑤ｐH値表示部
電極にふれている液のｐH値を表示します。

⑥温度表示部
電極にふれている液の温度を表示します。

⑦ボトルランプ
ベル,３の残量が約５０ｍｌ以下になるとランプが点灯します。

⑧クリアーボタン
ボタンを押すと、ベル,３使用量表示部が“０”になります。

⑨手動ボタン
ボタンを押しただけベル,３が吐出します。

⑩目標ｐH値表示部
目標ｐH値を表示します。

⑪BELLE，３吐出ランプ
ベル,３が吐出する際にランプが右から左に流れます。

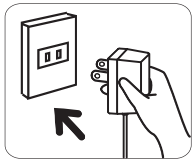
⑫BELLE，３使用量表示部
ベル,３の使用量を表示します。

⑬スタート ストップ ボタン
ボタンを押すと自動的に目標ｐH値の調整を開始します。再度ボタンを押すと自動調整がストップします。
（タイマー設定の仕方はP3参照）

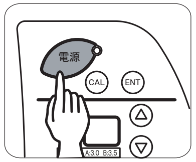
BJ03P05101

●作業を始める前に

1．校正の手順
！！必ず１日に１回は校正を行なってください。！！

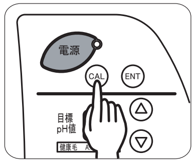


①電源プラグをコンセントに差してください。



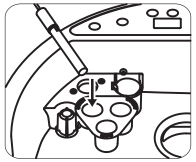
②電源ボタンを押してください。

ｐＨ値・温度が点灯し目標ｐＨ値、BELLE，３使用量が点滅します。

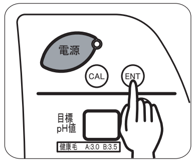


③CALボタンを長押ししてください。（２秒以上）

ｐＨ表示部に［７］が点灯し、
BELLE，３使用量表示部に［CAL］が点滅します。

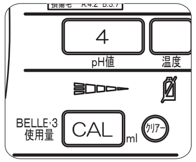


④電極を標準液７に入れてください。
＜ｐＨ７の校正を開始します。＞



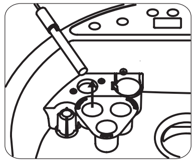
⑤ENTボタンを押してください。

ｐH値表示部に電極にふれている液のｐH値が表示され、
BELLE，３使用量表示部に［ｐH7］が点滅します。

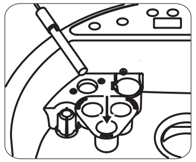


⑥標準液７の校正が終了します。

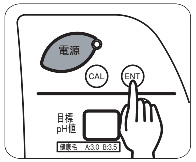
ｐH値表示部に［４］が表示され、
BELLE，３使用量表示部に［CAL］が点灯します。



⑦電極を標準液７から取り出し、電極を水道水で
洗ってティッシュで軽く拭いてください。

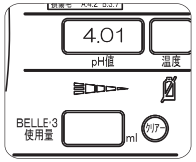


⑧電極を標準液４に入れてください。
＜ｐH4の校正を開始します。＞



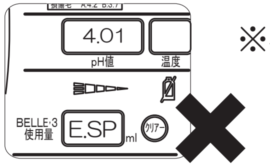
⑨ENTボタンを押してください。

ｐH値表示部に電極にふれている液のｐH値が表示され、
BELLE，３使用量表示部に［ｐH４］が 点滅します。



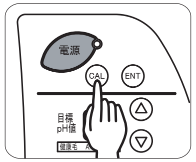
⑩数秒後、校正が正しく終了した場合

ｐH値表示部に４．０１付近の値が表示され、
BELLE，３使用量表示部に［God］が表示されます。



※校正が正しく終了しない場合

ｐH値表示部に４．０１付近の値が表示され、
BELLE，３使用量表示部に［E.SP］が表示されます。
この場合には、ENTボタンを押すと③の状態に戻りますので、
標準液を交換して再度校正をやり直してください。



⑪CALボタンを押してください。

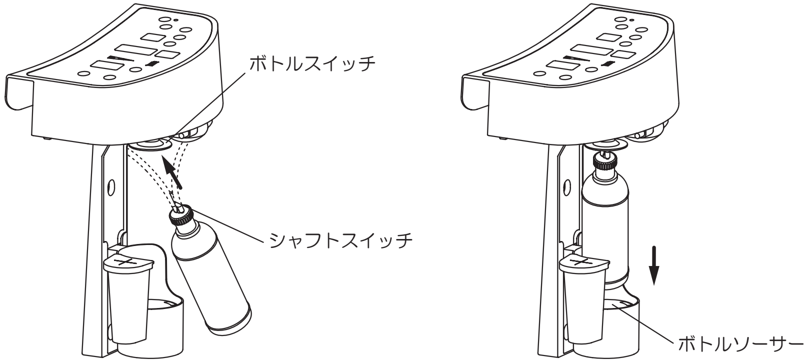
校正が終了します。
表示部全体が電源ボタンを押した状態に戻ります。

2．BELLE，3ボトルのセットのしかた

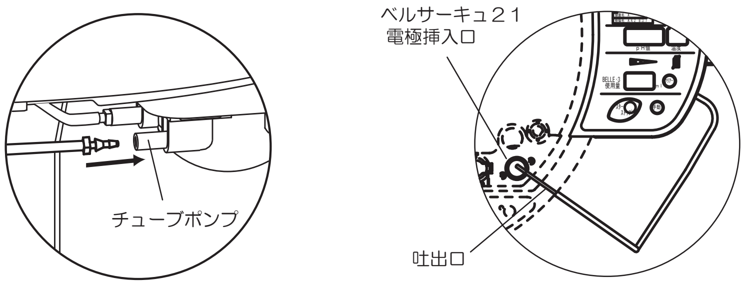
①BELLE，3ボトルのキャップをはずしてください。

②本体付属のボトルキャップをBELLE，3ボトルにセットしてください。
　このとき”ポコッ”と音がするまで押し込んでください。

③ボトルキャップ中央部のシャフトスイッチを本体底面部にあるボトルスイッチに
　はめ込んだ後ボトルソーサーにBELLE，3ボトルをセットしてください。



④ボトルキャップから出ている2本のホースのうち、長いほうをポンプのチューブに差し込み、吐出口をベルサーキュ21のトレイ部電極挿入口に入れてください。



⑤操作パネルの手動ボタンを押し続けてください。
　（本体内部の空気を抜きます。）

⑥本体吐出口よりBELLE，3が出てきましたら、手動ボタンから手を離してください。
　（本体内部の空気がすべて抜けました。）

3．タイマー設定のしかた

工場出荷時は10分で自動調整が切れる仕様になっております。
10分を変更したい場合は、下記の手順に従って変更が可能です。

①電源プラグをコンセントに差し込む。

②電源ボタンを押す。

③操作パネルのENTボタンを押しながらクリアーボタンを押す。
　　pH値表示部に c.t 、BELLE，3使用量表示部に 10 が点滅します。

④目標pH値設定ボタン △ ▽ で時間を設定してください。
　（BELLE，3使用量表示部の数字が時間になります。）

⑤ENTボタンを押す。
　　電源ボタンを押した状態に戻ります。

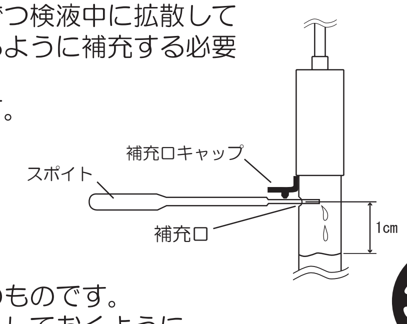
4. 電極用補充液の補充のしかた

　本製品に使用する電極内部の溶液はごく少量ずつ検液中に拡散して液量が減少するため、内部電極が常に液中にあるように補充する必要があります。

　電極内部に液を補充するには次のようにします。

　電極の補充口キャップ(図参照)をはずし、付属のスポイトで電極用補充液を注入します。

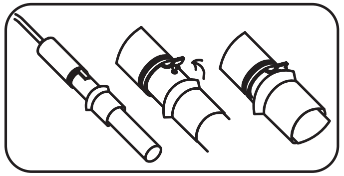
　この際、補充口から1cm以上低くならないように注意してください。



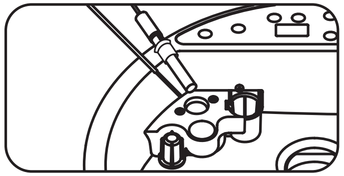
※この電極用補充液は電極の寿命を延ばすためのものです。
　ご使用後は必ず電極の先端を電極用補充液に浸しておくように
　してください。

●作業の手順

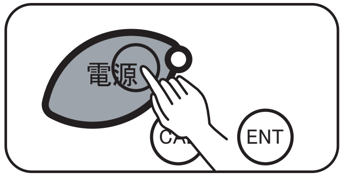
“作業を始める前に”の操作が終了後、下記の手順にて
ｐH自動調整を行うことが出来ます。



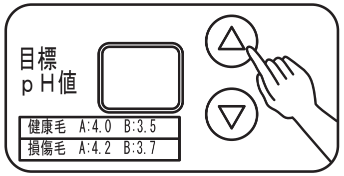
1．電極の補充口のキャップをはずし、
補充口カバーで補充口をふさぐように
しっかりとかぶせてください。



2．電極と吐出口をベルサーキュ２１の
トレイ部の電極差込み口に入れて
ください。



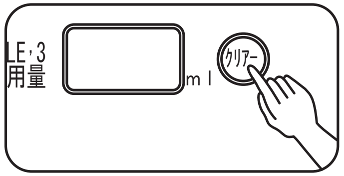
3．電源ボタンを押してください。



4．目標ｐH値を設定する。

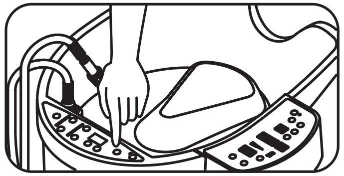
△ボタンを押すと目標ｐH値が０．１づつ増えます。

▽ボタンを押すと目標ｐH値が０．１づつ減ります。

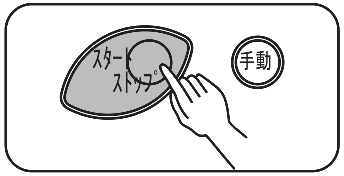


5．クリアーボタンを押してください。

BELLE，３使用量表示部が　０　ml
になります。

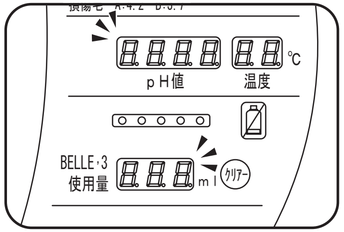


6．ベルサーキュ２１をスタートします。
（A剤）



7．スーパーpHコントローラーの
スタートボタンを押してください。

ｐH自動調整を開始します。



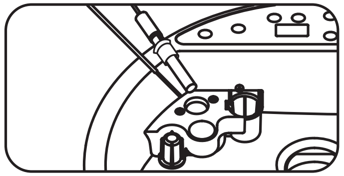
8．設定時間経過後、自動調整終了です。

自動調整終了後は、目標ｐH値表示部と
BELLE，３使用量表示部が点滅します。

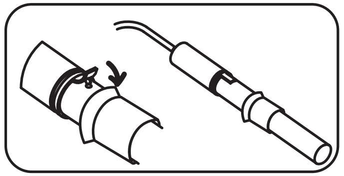
9．B剤も、作業の手順２～６を
繰り返します。

〈5ページへ続きます〉

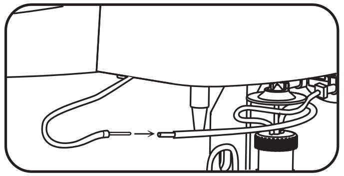
●作業の手順のつづき



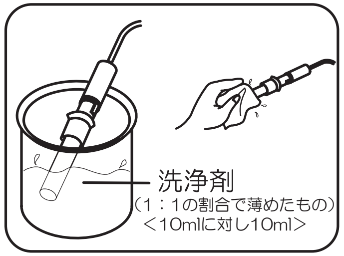
9. 施術終了後、電極と吐出口を
ベルサーキュ２１本体から
抜いてください。



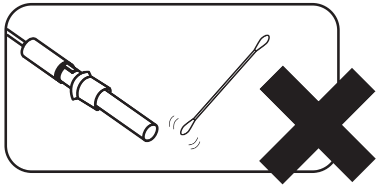
10. 電極の補充口のキャップを
つけてください。



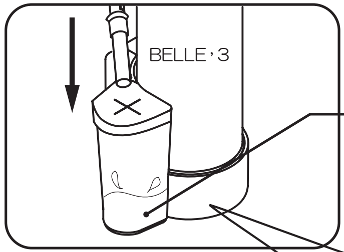
11. 吐出口をボトルキャップの
空気抜きホース(短いほう)に
差し込んでください。



12. 電極を付属品の洗浄剤に
約10分間つけた後、
水道水で洗いティッシュで
かるく拭き取ってください。

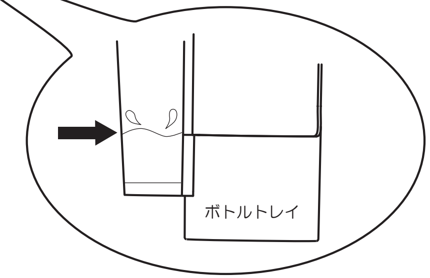


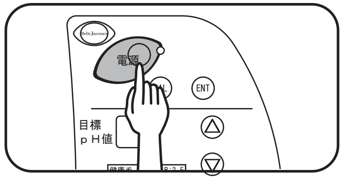
!! 注意！！
電極のお手入れの際、綿棒等は絶対に
使用しないでください。



13. 電極を電極収納部へ収納
してください。

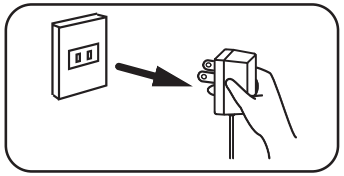
!! 注意 !!
このとき電極収納部には必ず下図矢印付近
まで電極用補充液を入れ、電極の先端部が
電極用補充液に浸るようにしてください。





14. 電源ボタンを押す。

すべての表示が消えます。
（電源ランプのみ点灯）



15. 電源プラグをコンセントから
抜いてください。

●エラー表示とその対策

oVEr (oVEr)

電極の出力が15.01pH以上または-1.01pH以下になった場合の表示です。

原　因 電極が計測中の薬液に浸かっていない可能性があります。

対処法 計測中の薬液に浸けてください。

E.bU (E.bU)

標準液の劣化または電極のゼロ点異常を示します。

原　因 標準液の劣化が考えられます。

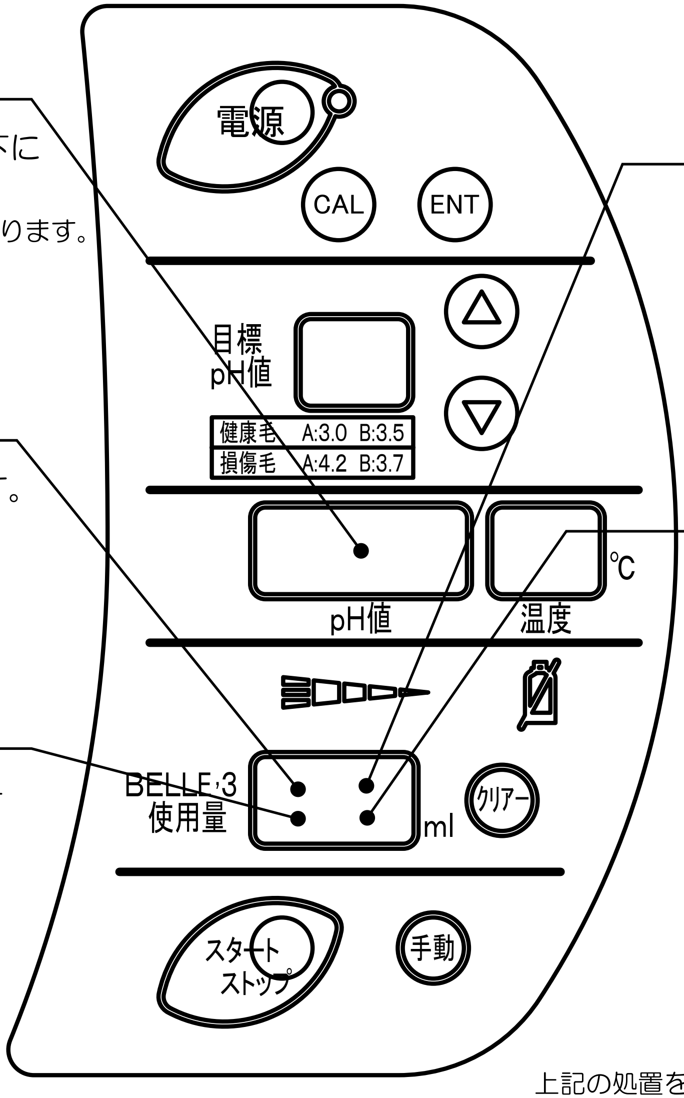
対処法 標準液を交換してください。

oVE (oVE)

110.1℃以上または-10.1℃以下の温度入力信号に対する表示です。

原　因 水温が適切でない可能性があります。

対処法 水温を調整してください。



E.SP (E.SP)

校正結果が設定値より大きく離れていることを示します。

原　因 電極の誤作動の可能性があります。

対処法 電極の洗浄を行ってください。

nG (nG)

校正不可能(入力信号が不安定)であることを示します。

原　因 標準液に電極が充分浸かっていない可能性があります。

対処法 標準液を充分入れてみてください。

※電極用補充液が不足している場合もあります。
（この場合電極用補充液を補充してください。）

上記の処置を施しても問題がありましたら販売店にご相談ください。

●安全上のご注意

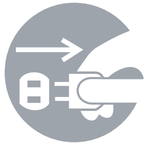
安全にお使いいただくために必ず守ってください。

表示の意味

⚠ **警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると
人が死亡または、重症を負う可能性が
想定される内容を示しています。

⚠ **注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると
人が障害を負う可能性または、物的損害の発生が
予想される内容を示しています。

警告



異常な臭いがしたり、過熱、発煙した場合は、
直ちに電源を切り電源コンセントから
電源プラグを抜いてください。

●そのまま使うと火災、故障の恐れがあります。
メーカーまでご連絡ください。

ポンプ及び配線部に水をかけたり
しないでください。

●ショート、発火の恐れがあります。

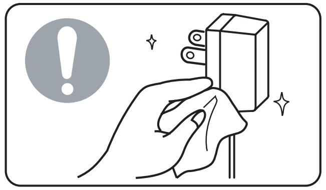
本製品が故障した場合は販売店までご連絡ください。
ご自分でポンプや電気配線などの改造、
分解はしないでください。

●これらの行為を行った場合は、責任を負いかねます。

ＡＣ100Ｖ以外の電源コンセントには
絶対に電源プラグを差し込まないでください。

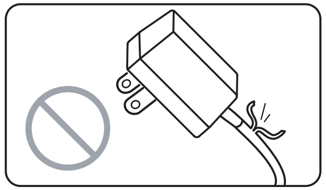
●ショートや発煙、発火の恐れがあります。

警告



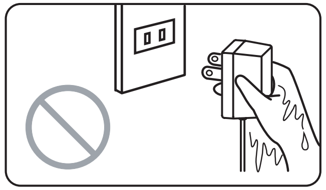
差し込みプラグにほこりが
付着している場合は、
よく拭き取ってください。

●火災の原因になります。



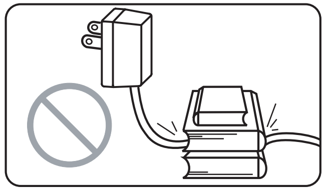
電源コードや差し込みプラグが
傷んでいたり、コンセントの
差し込みがゆるい時には
使用しないでください。

●感電、ショート、発火の原因に
なりますのでプラグはコンセントの
根元まで確実に差し込んでください。



濡れた手で、電源コードの
プラグを抜き差ししないで
ください。

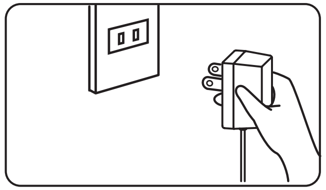
●感電の恐れがあります。



電源コードを無理に折り曲げたり、
引っ張ったり、重いものをのせたり
しないでください。

●ショート断線による火災や感電の恐れが
あります。

注意



電源コードを電源コンセントから
抜く場合は、必ずプラグを持って
抜いてください。

●電源コードを引っ張るとコードが
破損します。

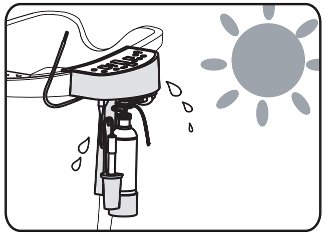
●安全上のご注意のつづき

禁止

ポンプを空回りさせないように
してください。

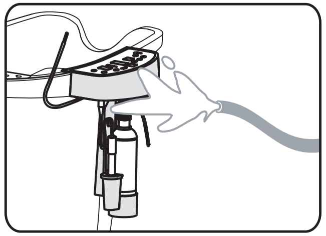
●故障の原因になります。

お手入れをする際は、研ぎ粉、
粉石鹸、ベンジン、シンナー、
石油、熱湯等はプラスチックを
傷めますので使用しないでください。



直射日光の当たる場所や、
熱器具の近くに置かないで
ください。

●内部の温度が上がったり、カバーや
電源コードの被覆が溶けるなどで
火災の原因になります。



本体に水をかけたりしないで
ください。

●ショート、感電の恐れがあります。

パーマ、トリートメント以外の
目的には使用しないでください。

●故障の原因になります。

熱湯を使用しないでください。

●故障の原因になります。

お願い

無線機等（ラジオ・テレビ）の
近くで使用しないでください。

●ラジオやテレビに雑音が入り、
画像が乱れる原因になります。

●主な仕様

項目	仕様	
形式	HK-03PHT ／ FT-07PHC	
外形寸法	高さ　120mm 奥行　225mm 幅　　130mm	
外形寸法（取付時）	高さ　320mm 奥行　225mm 幅　　130mm	
質量	3.2Kg	
電源	DC12V	
電源プラグ(ACアダプター)	AC100V　1A　機外長 3m	
付属品	取扱説明書 保証書 据付説明書 電源プラグ ボトルトレイ ボトルキャップ 電極	標準液　pH4 標準液　pH7 電極用補充液（KCl） pH洗浄剤 スポイト CALカップ 各種ネジ

発売元　FUJI TECHNO PLUS
株式会社フジテクノプラス
〒416-0937 静岡県富士市前田 326-1
TEL.0545-64-5005 fax.0545-64-5009
http://www.fujitechnoplus.com
E-mail:info@fujitechnoplus.com

BJ03P05104